

「もっと早く説明すべき」「防災無線は近隣と連携を」

— 時間外受付見直し住民説明会で意見相次ぐ —

総合事務所の時間外受付の見直しに関する住民説明会がこのほど13区で行われました。ここでは中郷区と吉川区での説明会の様子をお知らせします。中郷区で12人、吉川区で24人が参加しました。

いずれの会場でも、まず第6次行政改革について概要説明があり、その後、総合事務所の時間外受付の見直しについて決まったことを市の担当者が説明しました。

中郷区会場の参加者からは、「もっと早くから説明すべきだった」「放送については妙高市との連携が必要なときもある」「6月の説明では(案)がついていた。(その後、いきなり案がとれたものができて)本来の進め方のプロセスがなっていない。不手際があったことは事実だ」「行政改革と言うが、少子化に向け、どんな対応をしているか見えない」などの声が出ていました。

これに対して市の八木総務管理部長などが答弁し、「妙高市とは連携していく。中郷区の近くでクマが出て、こちらに向かう(可能性がある)場合は放送する」「行革で何を残すか、見直しをするかについては案を示し、議論を尽くしていく。みなさんと対話を重ねていくことが大事だと思っている」「(今回の時間外受付見直し問題で)対応のうまくなかった部分は反省する」とのべていました。

吉川区会場では、「いま、なぜ説明会をやるのか。十分意見を聞いて決めるべきだったのではないか」「市の提案には賛成だ。県のように(給与問題で)職員との話し合いをやるようなことにならないようにしてほしい」「防災行政無線、(火事の場合、放送するところとして区内だけでなく)隣接する柿崎区上下浜と桜町があがっているが、町田は頸城区と川谷は大島区と隣接している。どうするか」「防災無線は聞き取りにくいところがある。旭地区は旧旭村の高橋新田、内雁子などとの関係が深い。隣接地域として対応してほしい」「農村公園の遊具は老朽化して取り壊すことにした。費用は36万円だ。新しいものをつけたと思ったが補助はないという。子どもは宝だ」「時間外の電話は、柿崎につながるが、地理に不案内では困る。きちんとトレーニングしてほしい」などといった声が出ました。

これらに対して市側は、「火災についての放送は戸建て火災を想定しているが、山火事、大規模火災などはいままでどおり、しっかりやっていく」「防災無線が聞き取りにくいエリアは教えてほしい。大潟区の旧旭地区のことについては今後、検討していく」「トレーニング等についてだが、すでにマニュアルをもって訓練している」などと答えていました。



【ユキワリソウ】再掲。サクラソウ科の多年草。漢字で「雪割草」と書きます。わが家の庭のユキワリソウが2月の下旬に咲いたのは初めてです。すでに山間部でも咲いているという情報が入っています。異常ですね。花言葉は「自信」「信頼」。写真は2月2日、撮影しました。

新潟県知事への予算要望抜粋(その2)

● 国民健康保険制度について。国に対して、国民健康保険料(税)を協会けんぽ並みに引き下げるため、全国知事会も要求している1兆円の国費投入を求めていただきたい。国保加入世帯の人員に「人头税」のように賦課され、子育て支援にも逆行する子どもの「均等割」を廃止していただきたい。

● 補聴器の購入補助について。聴力が低下している高齢者が補聴器を活用することは、認知症予防にも効果的とされています。いくつかの市町村では、すでに補聴器購入に対する補助制度が始まっており、県として市町村と連携して、補聴器購入補助制度を創設していただきたい。

● 県民生活に密着した事業、防災・減災に重点を置いた公共事業の推進について。

公共事業は、小中学校・高校、保育所・幼稚園などの耐震改修、介護施設の整備、県営住宅の増設と改修、県道の歩道整備と路面補修、老朽化した橋梁・トンネルなどの補修・維持管理など、県民生活に密着した事業を重点的に推進していただきたい。

はしづめ法一の活動レポート

No.1946 2020.2.9

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五九四回 春になったら

真冬とは思えない青空が広がった日、叔父が入所している介護施設に今年初めて行ってきました。約三か月ぶりです。

九時四十分過ぎに施設に到着し、手を消毒している、スタッフの一人の方が、「橋爪さんですね」と声をかけてくださいました。一年に何度か訪問していますので施設のスタッフの方も私の名前を覚えていてくださったようです。

談話室のドアを開けると、三、四人の方がそれぞれの名前が書かれたテーブルに座っておられました。叔父はいつも南側のテーブルのそばで立っていました。どこかへ行こうとしていたタイミングだったのかも知れません。

私がマスクをしていたこともあって、叔父は最初、私が誰か分からなかったようです。「おはようございます」とよそいきの挨拶をしていました。

私がかさず、「父ちゃん、オシだよ」そう声をかけたら、叔父は私の声でわかったようです。「ようーっ、ありがとうね、何年ぶりだね」ときました。おやおや、昨年の秋も来ているんですね。私についての記憶は少し飛んでしまったのでしょう。

談話室の外を見ると、雪が全くない風景が広がっています。叔父とは自然と、まもなくやってくる春の話になりました。

「今年の冬は、雪ねえすけ、体、いつもより楽だね」

「オシ、春になったら、家、帰って、たまには……」

「そんなときはオシにまかしてくれない。乗せていってやろかね」

「ありがとね。オシも五月になりや、ゼンメ、とらんきやならん。三〇〇株、植えてあるがすけ、たいへんなんど……、茹でて、ほさんきやならんすけね」

「ほしや、一反くね、ゼンメの畑、あるが

かね」

「なして、そんがにね。三畝べれかな」

叔父のしゃべる様子を見ていたら、ゼンメ（ゼンマイのこと）採りのことから茹でて干すことまでのことを本気で考えている雰囲気がありました。

「春になったら」の話が一段落したところで、いつものようにスマホを取り出し、まず母の写真を見てもらいました。母の笑顔いっぱいの写真を見た叔父は、「まあ、達者だね」と言いました。

続いて尾神岳や米山さんの風景写真です。今年は晴れの日が多く、二つの山と青空の写真を何回も撮ることができました。私のような素人でも、けっこうきれいに撮れています。叔父は喜んでくれました。

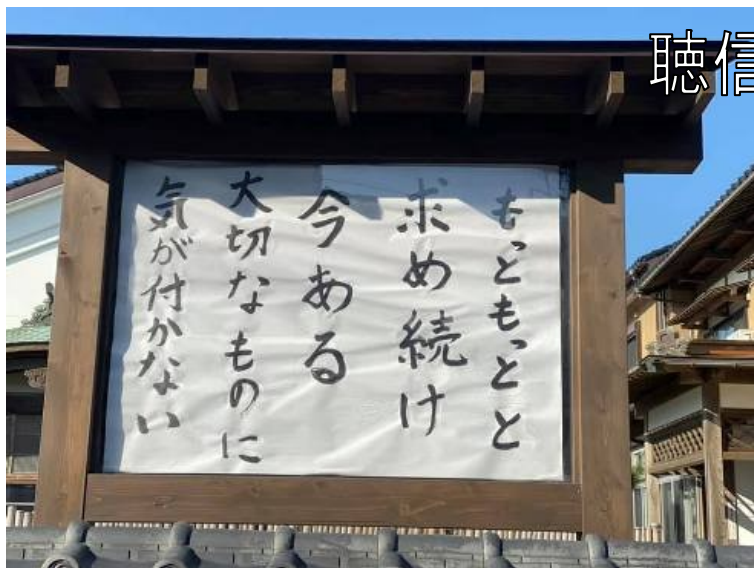
最後はサイの神の写真です。サイの神の写真は川谷、川袋、代石の写真がありました。このうち、川谷のものは動画で見てもらいました。叔父は、「よく燃えてるねえ、ここでもやったがど」そう言って画像を食い入るように見つめていました。

叔父は昨年の年末で満九四歳になりました。よく考えてみたら、叔父は介護施設に入所してから、家に帰ったという話を聞いたことがありません。おそらく一度も家に帰っていないのだと思います。

そのことについていたら、「春になったら、家に帰りたい」そう言った叔父の願いに必ず応えてあげたいと思いました。畑に行つてゼンメ採りができようができませんがどうでもいいのです。とにかく、一度、長年住んでいた自分の家の姿を見て、喜んでもらいたいです。

面会が終わると、叔父は今回も玄関口まで私を送り出してくれました。百円ほど車を走らせ、振り返ってみたら、叔父はまだ盛んに手を振っています。待っていてくれないや、春になったら必ず迎えに来るよけ。

聴信寺の掲示板



直江津は三八市の通りにある聴信寺の掲示板。新住職に手による新しい言葉が掲示されました。「もともともとと求め続け 今ある大切なものに気が付かない」のなるほどと思う言葉ですね。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 1月29日(水) | 2月5日(水) |
|--------|----------|---------|
| 上越南消防署 | 0.047 | 0.047 |
| 上越北消防署 | 0.043 | 0.043 |
| 新井消防署 | 0.040 | 0.047 |
| 頸北消防署 | 0.050 | 0.043 |
| 頸南消防署 | 0.050 | 0.050 |
| 東頸消防署 | 0.057 | 0.053 |
| 高士分遣所 | 0.057 | 0.050 |
| 名立分遣所 | 0.057 | 0.057 |

「県としてやらなければならないことを国が言った」

県立柿崎病院後援会理事会が4日、柿崎コミュニティプラザで行われました。太田病院長が、職員がひとつになってがんばっている病院の現状を報告(イラスト)。その後、意見交換が行われました。

このなかで米澤副知事は、厚生労働省が進めている公立・公的病院の再編統合の動きについて、「厚生労働省は袋叩きにあっている。(でも)新潟県としてやらなければならないことを国で言っている。県としてはやるべきことをやりながら、使えることを使っていく」とのべていました。今後、大いに議論していきたいと思っております。



春よ来い

第五九四回 春になったら

真冬とは思えない青空が広がった日、叔父が入所している介護施設に今年初めて行ってきました。約三か月ぶりです。

九時四十分過ぎに施設に到着し、手を消毒している、スタッフの一人の方が、「橋爪さんですね」と声をかけてくださいました。一年に何度か訪問していますので施設のスタッフの方も私の名前を覚えていてくださったようです。

談話室のドアを開けると、三、四人の方がそれぞれの名前が書かれたテーブルに座っておられました。叔父はいつも南側のテーブルのそばで立っていました。どこかへ行こうとしていたタイミングだったのかも知れません。

私がマスクをしていたこともあって、叔父は最初、私が誰か分からなかったようです。「おはようございます」とよそいきの挨拶をしていました。

私がかささず、「父ちゃん、オシだよ」と声をかけたら、叔父は私の声でわかったようです。「ようーっ、ありがとうね、何年ぶりだね」ときました。おやおや、昨年の秋も来ているんですね。私についての記憶は少し飛んでしまったのでしょう。談話室の外を見ると、雪が全くない風景が広がっています。叔父とは自然と、まもなくやってくる春の話になりました。

「今年の冬は、雪ねえすけ、体、いつもより楽だね」
「オシ、春になったら、家、帰って、たまには……」
「そんなときはオシにまかしてくれない。乗せていってやろね」

「ありがとね。オシも五月になりや、ゼンメ、とらんきやならん。三〇〇株、植えてあるがすけ、たいへんなんど……、茹でて、ほさんきやならんすけね」
「ほしや、一反くね、ゼンメの畑、あるが

かね」

「なして、そんがにね。三畝べれかな」

叔父のしゃべる様子を見ていたら、ゼンメ（ゼンマイのこと）採りのことから茹でて干すことまでのことを本気で考えている雰囲気がありました。

「春になったら」の話が一段落したところで、いつものようにスマホを取り出し、まず母の写真を見てもらいました。母の笑顔いっぱいの写真を見た叔父は、「まあ、達者だね」と言いました。

続いて尾神岳や米山さんの風景写真です。今年は晴れの日が多く、二つの山と青空の写真を何回も撮ることができました。私のような素人でも、けっこうきれいに撮れています。叔父は喜んでくれました。

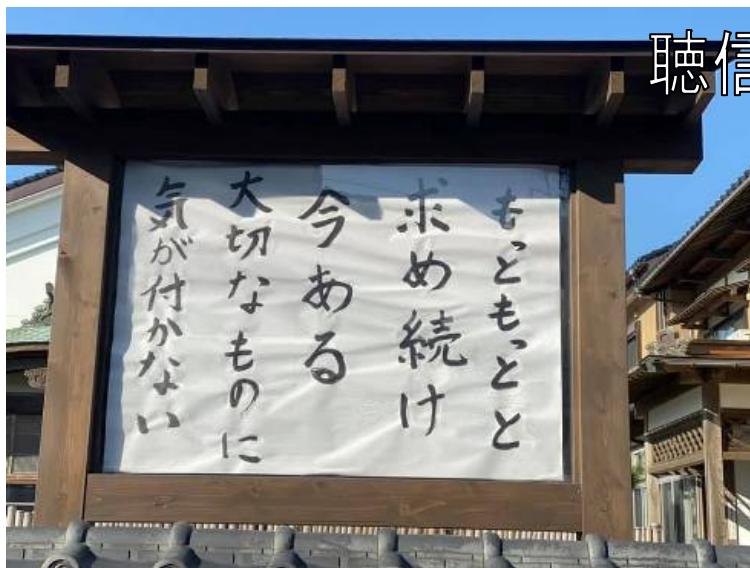
最後はサイの神の写真です。サイの神の写真は川谷、川袋、代石の写真がありました。このうち、川谷のものは動画で見てもらいました。叔父は、「よく燃えてるねえ、ここでもやったがど」そう言って画像を食い入るように見つめていました。

叔父は昨年の年末で満九四歳になりました。よく考えてみたら、叔父は介護施設に入所してから、家に帰ったという話を聞いたことがありません。おそらく一度も家に帰っていないのだと思います。

そのことに気づいたら、「春になったら、家に帰りたい」そう言った叔父の願いに必ず応えてあげたいと思いました。畑に行くとゼンメ採りができようができませんがどうでもいいのです。とにかく、一度、長年住んでいた自分の家の姿を見て、喜んでもらいたいです。

面会が終わると、叔父は今回も玄関口まで私を送り出してくれました。百円ほど車を走らせ、振り返ってみたら、叔父はまだ盛んに手を振っています。待っていてくれないや、春になったら必ず迎えに来るよけ。

聴信寺の掲示板



直江津は三八市の通りにある聴信寺の掲示板。新住職に手による新しい言葉が掲示されました。「もともともとと求め続け 今ある大切なものに気が付かない」のなるほどと思う言葉ですね。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 1月29日(水) | 2月5日(水) |
|--------|----------|---------|
| 上越南消防署 | 0.047 | 0.047 |
| 上越北消防署 | 0.043 | 0.043 |
| 新井消防署 | 0.040 | 0.047 |
| 頸北消防署 | 0.050 | 0.043 |
| 頸南消防署 | 0.050 | 0.050 |
| 東頸消防署 | 0.057 | 0.053 |
| 高士分遣所 | 0.057 | 0.050 |
| 名立分遣所 | 0.057 | 0.057 |

ガス水中郷区営業所は2021年4月から板倉へ移転統合へ

ガス水道局は1日、中郷区にて中郷区営業所の移転統合についての説明会を行いました。

ガス水道局の山田総務課長の説明によると、2021年4月から、これまで清里にあった南部営業所と中郷区にあった中郷区営業所をそれぞれ板倉区へ移転し、新たな南部営業所にするとのこと。営業所の移転統合は、3年前の大湊区営業所の北部営業所への移転統合の続くものです。

ガス水道局は今回の体制変更について、「日常的な施設整備・点検監

視はもとより、災害発生時の管内状況の把握とその後の復旧対応を迅速かつ円滑に行うため」と説明していました。

説明会では、「統合移転とは言えけれど、中郷区営業所は事実上廃止ということか」「中郷区営業所は『公の施設』ではないのか」などの質問が出ました。

これに対して、山田課長は「統合で中郷区営業所はなくなる。法的には『公の施設』ではなく行政財産だ」と答弁していました。詳しいことはチラシで広報するそうです。